



第443号 2011年1月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1

広大附高アカシア会館

TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 526回 例会



常任幹事会 (平成22年12月1日アカシア会館：関連記事4頁)

2011年版
アカシア会会員名簿

好評販売中!

1冊 3,600円

2010年10月に発行したピンク色の表紙の名簿です。
お求めは同封の払込票で下記口座へご送金ください。

☎01300-4-13111「アカシア会」



Contents

ごあいさつ、月例会案内……………	1	岡山アカシア会、九州アカシア会…	12
会則改定と運営会費について…………	2	元教官の会、同期会だより…………	13
総会までの動き、常任幹事会報告…	4	会員名簿広告主一覧、平和公園無料ガイド…	17
山口信夫氏(33回)を偲ぶ……………	5	アカシアライブラリー、計報…………	18
アカシア探検隊 大本榮一氏(27回)…	6	出てもらうてもええかいのお④⑥…	19
友誼の御園……………	8	ピバアカシアカップル⑱……………	19
いろいろアカシア情報……………	10	事務局だより……………	19
地域アカシア会だより 東京アカシア会…	10	12月例会レポート……………	20
近畿アカシア会、東海アカシア会…	11		

※アカシア夜話は休載しました。

謹賀新年
 一月元旦
 アカシア会会員の皆様の
 本年の御隆昌と御健勝を
 心から御祈りいたしており
 ます。
 アカシア会会長 石井泰行

1月例会(526回)のご案内
～新年互礼会～

日時：平成23年1月17日(月) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

「新春によせるチェロとピアノのアンサンブル」

チェリスト 中村美保氏(78回)

ピアニスト 桂 杏子氏(72回)

東京と広島でそれぞれ音楽活動続ける二人ですが、幹事学年として今回共演の機会をいただきました。サン＝サーンスの「白鳥」など馴染み深い作品と雄大なブラームスの作品をお届けいたします。楽しんでいただければ幸いです。

2月例会：2月17日(木) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

「福沢諭吉門下生たちの文明開化～広島県の近代学校発足～」
庄原市文化財保護審議会会長 武田 祐三氏(44回)

3月例会：3月17日(木) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

「日常の中の芸術の発見～瀬戸内国際芸術祭「島キッチン」と幾つかの建築設計事例の紹介～」 建築家 安部 良氏(76回)

広島アカシア会の懇親会費は4,000円(79回以降の卒業生2,000円)
アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越しください。

会則改定のお知らせ 平成23年4月1日より施行されます。

より良いアカシア会になるための新たな一歩です。 皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

改定
1

**卒業後30年が経過している会員の皆様にも、
会費10,000円をお支払いいただきます。**

現 会 則

第9条(入会金及び会費)

本会の会員は以下のとおり入会金と維持会費を納入しなければならない。

- ①会員は、入会金として5,000円を納入しなければならない。
- ②会員は、維持会費として入会時に10,000円を、入会後20年目に10,000円を納めるものとする。但し、これに代えて毎年1,000円を納入する方法を選択することができる。なおその場合でも、入会から20年経過後に10,000円を納入し以後の会費の免除をうけることができるものとする。
- ③特別会員は、入会金及び維持会費を免除する。
- ④既納の入会金並びに維持会費は返還しない。
- ⑤上記の金額は3年ごとに見直しするものとする。

新 会 則

(改定箇所は —— で示す)

第10条(入会金・会費及び寄付金)

本会は、入会金、会費及び寄付金等によって運営する。

2.本会の会員は、以下のとおり入会金と会費を納入しなければならない。

- ①会員は、入会金として5,000円を納入しなければならない。
- ②会員は、卒業年度により、以下のとおり会費を納入しなければならない。
 - 1.平成12年以降に入会した会員は、入会時に維持会費として10,000円、入会後30年目に運営会費として10,000円を納めるものとする。
 - 2.平成11年以前に入会している会員で、入会後30年を経過しない会員は、入会後30年目に運営会費10,000円を納めるものとする。
 - 3.既に入会後30年を経過している会員は、本会則が施行された年度に、運営会費10,000円を納めるものとする。

- ③特別会員は、入会金、維持会費及び運営会費を免除する。
- ④既納の入会金、維持会費並びに運営会費は返還しない。
- ⑤上記の金額及び運営会費の納入時期は、5年ごとに見直しするものとする。

なぜ?

改定するのか…

■平成12年度～19年度の1年間の平均的なデータ 毎年約100万円の赤字

収入 約900万円	入会金・会費 約300万円	名簿広告料 約300万円	名簿販売代・その他の収入 約300万円
支出 約1,000万円			

◆ 会の財政は構造的赤字に苦しんでいます。

これまで会報で報告してきましたが、アカシア会の財政は毎年赤字を出している状況です。その根本的な原因は、平成3年(81回)以前の卒業生には、「卒業時に入会金1,000円、会費5,000円を納めれば以後の維持会費の納入は免除される」という会則が、今なお有効であることにあります。会員1人当たりにかかる年間経費は約500円であるため、この6,000円は約12年で使い果たされ、それ以降は赤字が生まれるという構造的な問題を抱えています。

◆ 世代間での負担の不公平が生じています。

会の財政赤字を補填するため、平成4年と12年に入会金・会費の値上げが行われました。平成12年(90回)以降の卒業生は、現会則により「入会時(卒業時)に入会金5,000円、会費10,000円、入会後(卒業後)20年目に10,000円、合計25,000円を支払うこと」が義務づけられており、それ以前の世代より大きい負担がかかっています。

◆ 収入を名簿広告料に頼る不安定な状況にあります。

収入の内訳は、新入会員からの入会金・会費が約300万円、名簿広告料が約300万円、名簿販売代とその他の収入が約300万円となっています。確実に収入を確保できる入会金・会費の割合が少なく、不安定な名簿広告料に多くを頼っている現状は決して健全とは言えません。

◆ これらを解決し、会の財政を健全化するためには、 会則改定が不可欠です。

事業の無駄を省き、経費を節約する努力を引き続き行っていますが、財政のさまざまな問題を根本的に解決するためには、入会金・会費に関する会則を改定することが必要です。卒業後(入会後)30年が経過している会員からも追加的に会費(運営会費)をいただく会則に改め、全会員の公平な負担によって財政が支えられ、会を安定的・持続的に運営できるしくみへと改善します。

振込用紙の送付について 昭和56年(71回)以前の卒業生から順次お届けしてまいります。

本会則改定が施行される平成23年4月、入会後30年目に当たる昭和56年(71回)の卒業生と、既に30年を経過している70回以前の卒業生を対象に、23年度内に会費請求書と振込用紙をお送りします。

その後、翌24年には72回生、25年には73回生…と順次お届けしてまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成20年6月、石井会長からの諮問を受けて特別委員会(委員長 大方幸三46回)が設置され、「組織検討部会(部会長 吉中康磨50回)」「財政検討部会(部会長 井藤壯太郎50回)」の二部会で会則の改定に取り組みました。できるだけ多くの会員の意見を反映させるため、全会員を対象にした「アンケート」の実施や、積極的に各地域に出かけ役員の方と意見

交換を行うとともに、各地域の代表者に広島に来ていただいて意見交換を重ねるなど、約2年の歳月をかけて改定案をまとめ、昨年7月の総会で承認されました。今後は新しい会則にのっとり、まず財政的基盤を安定させ、より魅力的なアカシア会に発展させていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

改定
2

地域・職域等アカシア会の独立性を明示します。

現 会 則

第4条(支部)

本会は必要な地域・職域等に支部を置くことができる。

新 会 則

(改定箇所は _____ で示す)

第5条(地域・職域等アカシア会)

本会は必要な地域・職域等に地域・職域等アカシア会を置くことができる。
2.地域・職域等アカシア会の構成・役員及び運営は、各アカシア会で定めるものとする。

なぜ? 改定するのか...

◆ 各会独自の活動を尊重しつつ、連携を図っていきます。

会の活動を全国で活発に展開し、会員の交流の輪を広げていくためには、各地域、職域等で、それぞれの事情に即し、自主的に会を運営していくことが大切です。そこで、現会則にある「支部」という言葉を「地域・職域等アカシア会」と改めるとともに、その組織・運営の独立

性を明記します。また、これと併せて、会相互の意見交換や親睦の場を設け、連携を図ることで、会の発展をめざしていきます。連携においては、学年幹事会が中心的な役割を果たしていきます。

改定
3

アカシア会が行う事業を明示します。

現 会 則

第3条(目的)

本会は会員相互の親睦をあつくし、会員と広島大学附属中・高等学校(以下広大附属中・高等学校と称す)の発展に寄与することを目的とする。

新 会 則

(改定箇所は _____ で示す)

第3条(目的)

本会は会員相互の親睦をあつくし、会員と広島大学附属中・高等学校(以下広大附属中・高等学校と称す)の発展及び社会貢献に寄与することを目的とする。

第4条(事業)

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 会員に対する啓発活動。
- ② 会員相互の交流及び親睦。
- ③ 広大附属中・高等学校との交流。
- ④ 広大附属中・高等学校在校生の活動支援。
- ⑤ 広大附属中・高等学校の活動支援。
- ⑥ 社会貢献事業の支援。
- ⑦ 会報の発行。
- ⑧ 会員名簿の発行。
- ⑨ その他常任幹事会において必要と認め、総会で承認されたこと。

なぜ? 改定するのか...

◆ 会として「真に必要な事業」を明確にし、重点的・合理的な予算配分を行います。

新会則には、会の目的とともに、それを達成するために行う事業を明記します。必要なことを明確にすることで、無駄を省いて限られた予算を有効に使うことができます。事業の中で、「会報の発行」、「名簿の発行」、「各地域アカシア会との連携・交流」は、全ての活動の基盤となり、同窓会として維持していくために必須の活動です。これら3つの事業を「真に必要な事業」と位置づけ、予算を優先的に配分して確実に実施していきます。

ご不明な点・ご質問などがございましたらアカシア会事務局までメールまたはFAXでお願い致します。

アカシア会事務局 Eメールアドレス akashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jp FAX.082-253-5581

アカシア会会則改定までの動き

今回の会則改定に至るまでの2年間の動きをまとめてみました。

1 特別委員会の設置

(会報2008年7月号全国版で報告)

全国アカシア会の組織と財政に関して、どうすれば全国アカシア会が各地域アカシア会の独自性を尊重しつつ、連携した活動ができるか、どうすれば財政的に健全な運営ができるか、石井泰行会長(43回)から御指示を頂き、平成20年6月、常任幹事会において「特別委員会」を立ち上げることが承認されました。

「特別委員会」の委員長に大方幸三氏(46回)、副委員長に向井恒雄氏(50回)が任命され、さらに二つの部会が設置されました。メンバーは右表の通りです。

2 諮問事項

(会報2009年1月号全国版で報告)

「組織検討部会」の部会長には吉中康麿氏(50回)が任命され、諮問事項は「全国アカシア会と地域アカシア会等の位置付けの明確化」、「アカシア会の組織のあり方、並びにそれに伴う会則の見直しについての提言(答申)」でした。

「財政検討部会」部会長には井藤壯太郎氏(50回)が任命され、諮問事項は「アカシア会としての真に必要な事業の明確化と理論付け」、「アカシア会の財政のあり方についての提言(答申)」

でした。

3 中間報告

(会報2009年7月号全国版で報告)

組織・財政の両検討部会では、それぞれ月1回のペースで部会を開き、諮問事項について、現状分析、問題点の抽出、答申の方向性を検討し、平成21年4月には中間報告を行いました。

4 各地域アカシア会の意見聴取

この間、地域アカシア会代表者懇談会を2回開催し、また東京、東海、近畿、岡山、九州等各地域アカシア会の懇親会等に部会長らが出向き、改定の必要性や趣旨を説明し、意見交換を行いました。

また、全会員を対象にアンケートを実施、答申案作成のための基礎資料としました。

(会報2010年1月号全国版で結果報告)

5 答申・会則改定案まとまる

(会報2010年7月号全国版に掲載)

4つの諮問事項に対する答申案と関連する会則の改定案は、平成22年4月開催の地域アカシア会代表者懇談会で了承され、6月の常任幹事会で承認さ



第3回地域アカシア会代表者懇談会(平成22年4月17日)

れ、7月の総会に諮り、議決された次第です。

特別委員会メンバー	
委員長	大方 幸三 (46)
副委員長	向井 恒雄 (50)
組織検討部会	
相談役	中田 研一 (48)
	川瀬 博之 (49)
部会長	吉中 康麿 (50)
副部会長	小川 玲子 (50)
	鼻岡 甫訓 (51)
委員	中西 忠彦 (53)
	本田 和哉 (62)
	甲斐 稔 (63)
	三原 千恵 (66)
	迫井 正深 (71)
	先本 賢司 (71)
	鈴木 隆子 (74)
	花岡 奉憲 (75)
オブザーバー	井藤壯太郎 (50)
財政検討部会	
部会長	井藤壯太郎 (50)
副部会長	川瀬 博之 (49)
	前川 功一 (52)
委員	樋渡美和子 (55)
	天島 純子 (57)
	甲斐 稔 (63)
	中本 泰弘 (65)
	畑 秀樹 (70)
	松浦 勇人 (76)
オブザーバー	吉中 康麿 (50)

アカシア会常任幹事会報告



平成22年12月1日(水) 18時30分より、アカシア会館にて常任幹事会が開催された。甲斐稔事務局長(63回)より、常任幹事総数44名中、出席者20名、委任状21通で、会則第28条に従い会の成立が宣言された後、石井泰行会長(43回)ご欠席の為、議長代行として向井恒雄副会長(50回)の挨拶があり、以下について報告、審議した。

1. 協議事項

(1)総会の議決についての実施案について

①会則改定案について、総会で承認

を得た後の若干の修正の確認。

②4月1日会則改定実施に向け、会報1月号全国版にその全容を掲載し会員に周知する。特に会費の追加徴収について、その必要性の説明を明確化、協力要請を訴求できるよう検討する。

③会則改定後、学年幹事会等を通じ、各学年に経緯説明並びに会費徴収の協力要請をする。

④卒業30年経過後の会員に対し、会費徴収のお願い文書、振込用紙を送付する。

⑤組織・財政問題を答申した特別委員会を発展的に改組、会費徴収の実施方法の検討の他、今後の会の運営に関する諸問題について検討する。

2. 報告事項

(1)事業計画の推進状況

①全国版会報について

②名簿について

③収支計算中間報告

④地域アカシア会例会への出席について

(2)宛名印刷機更新について

(3)簡易断裁機の購入について

(4)被爆者慰霊追悼の会の運営について

(5)山口信夫氏(33回)の葬儀への生花お供えについて

(6)アカシア会館内に給湯器設置について

(7)アカシア会館外壁補修工事について



山口信夫氏(33回)を偲ぶ

旭化成株式会社名誉会長で、前日本商工会議所会頭、前東京商工会議所会頭を歴任された山口信夫氏が、平成22年9月14日午前0時26分、心不全のため東京都中央区の病院でご逝去されました。享年85歳、喪主は妻の美子様。密葬として、通夜は同月20日、告別式は21日に東京都港区青山葬儀所にて執り行われました。政界、経済界等各方面から要人を中心に約500名の方が参列され、山口氏のご冥福を祈られました。

平成22年11月19日、「お別れの会」が日本・東京商工会議所、旭化成株式会社主催で、東京都千代田区帝国ホテル「孔雀の間」にて壮大に催され、主催者代表として、岡村正日商会頭や伊藤一郎旭化成会長が出席されました。政財界を始め多方面から約3,500名の方が参列され、突然の悲報に驚きつつ、同氏の温かい人柄や中小企業の発展に尽くされた功績を讃え、お別れを惜しまれました。

山口氏は母校卒業後、陸軍予科士官学校に進まれ、陸軍士官学校をご卒業、昭和20年少尉として平壤に出征。

第二次世界大戦後、旧ソ連で抑留生活を経験された後、東京商科大学(現一ツ橋大学)を卒業され、1952年に旭化成工業(現旭化成)に入社されました。

同社の「中興の祖」といわれる宮崎輝氏の秘書を長く務められた後、住宅部門の発展に手腕を発揮、収益の柱の一つに育てられました。その結果、同社は国内首位、世界で12位の総合化学会社に躍進しました。

平成13年から平成19年まで日本商工

会議所会頭として、政府や与党に対し、デフレからの脱却を図る景気対策や「貸し渋り」問題等、金融不安で経営環境が悪化した中小企業への支援強化を働き掛けられました。また、地域活性化策として、中心市街地の空洞化を防ぐ都市計画法など「まちづくり3法」の抜本改正にも尽力されました。

山口氏は他にも、膨大な数の要職に任じられました。平成6年から東京広島県人会副会長、平成15年広島県総領町で初の名誉町民、同町の庄原市との合併に伴い17年から同市名誉市民となられ、平成17年には紺綬褒章、平成19年には旭日大綬章を受章されました。

プロ野球巨人軍の熱心なファンで、財界人の応援団体「燦燦会」会長としても知られていました。

山口氏の生前のご功績をお讃え申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。合掌。



主な略歴

大正13年12月 広島県甲奴郡総村(現庄原市)生まれ(父周一、母キノの間の五人兄弟の五男)、昭和12年3月 広島市立千田尋常高等小学校卒業、17年3月 広島高等師範附属中学校卒業、18年12月陸軍予科士官学校卒業、20年6月陸軍士官学校卒業、8月陸軍少尉、終戦後旧ソ連タートル共和国で抑留生活、23年8月舞鶴港に帰還、27年3月東京商科大学(現一ツ橋大学)卒業、4月旭化成工業(株)(現旭化成株)入社、35年9月秘書室長、44年7月総務部長、49年12月住宅事業部長、50年5月旭化成ホームズ(株)代表取締役社長、51年旭化成工業(株)取締役、53年6月旭化成建材(株)代表取締役社長、旭化成インターナショナル(株)取締役、11月旭化成工業(株)常務取締役、54年5月ALC※協会会長(※Autoclaved Lightweight aerated Concrete = 高温高压蒸気養生された軽量気泡コンクリート)、56年代表取締役副社長、57年7月旭フーズ(株)取締役会長、61年12月旭化成マイクロシステム(株)取締役、平成2年7月建設大臣表彰受章、4年4月旭化成工業(株)代表取締役会長、6月旭化成ホームズ代表取締役会長、旭化成建材(株)取締役会長、(株)旭リサーチセンター代表取締役会長、9年11月東京商工会議所副会頭、日本商工会議所特別顧問、13年7月日本商工会議所会頭、東京商工会議所会頭、関東商工会議所連合会会長、15年9月広島県甲奴郡総領町名誉町民、16年6月(株)旭リサーチセンター取締役相談役、8月広島県庄原市名誉市民、17年7月紺綬褒章受章、19年4月旭日大綬章受章、11月日本商工会議所名誉会頭、東京商工会議所名誉会頭、22年9月14日心不全にてご逝去、同年10月正三位に叙せられる。

アカシア探険隊

MI・2011(冬)
～大本組本社ビル潜入の巻～



27回 大本 榮一氏
～株大本組 代表取締役社長～

「♪人生楽ありゃ苦もあるさあ～♪」
ということで、今回はアカシア会の黄門様こと、27回卒の大本榮一大先輩を訪ねて岡山へ行って参りました。

大本先輩は昭和11年(1936年)のご卒業。広島文理大学(現在の広島大学)文学部を卒業された後、陸軍予備士官学校を経て陸軍士官として第二次世界大戦も経験されております。

終戦後は大本組の経営にあたられ、健全経営をもって知られる大手ゼネコンに育て上げられました。現在も現役の社長として、そして様々な団体の役員として公私共に社会に大きく貢献されております。

そんな大本大先輩に、学生時代の思い出や、人生哲学など、貴重なお話を伺いました。そして勿論、アカシアへの想いや、現役生徒諸君へのメッセージもお預かりして来ました。



谷：本日は大変にお忙しいところ、お時間をいただき有難うございます。

大：遠いところをよう来てくれたのう。ゆうても、広島と岡山じゃあ、そうでもないか。ワッ・ハッ・ハッ・



ハ。ところで、中本君や谷口君は、仕事は何をしようんや？

中：私は印刷関係の仕事で、谷口はIT関係の仕事をしております。

大：ん？もっと具体的に判りやすうに言うたらどうなるん？

……と、暫くインタビュアーに対する逆取材が続く……

大：なるほどの。で、今日はワシは何を喋りゃあエエんかの。

谷：早速ですが、子供時代の思い出をお聞かせ願えますか？

大：ワシはね、小学校は広島偕行社附属済美小学校に通うとった。今の合同庁舎のあたりにあって、自宅があった西引御堂町(現在の中区広瀬町周辺)から30～40分かけて歩いて通うたんよ。

谷：小学生でそんなに長時間歩いて通うなんて大変でしたね。

大：当時はそれが当たり前よ。ゆうても遅れそうになって電車に乗った事もあったがの。ワッ・ハッ・ハ。とても躰けの厳しい学校で、勉強もしっかりやらされたよ。

中：そんな中で、当然附中を目指されたわけですね。

大：当時の男子は広島一中(現国泰寺高校)、二中(現観音高校)などを目指しておった。勿論附中(広島高等師範学校附属中学校)もその一つでNo1よ。ほいじゃが、全国から、少なくとも西日本全域から受験生が集まるんでえ、受かる訳が無いじゃろう。それでも一番早い時期に入試があった附中を「試し」に受けたら、なんとこれが受かったんよ～。やってみにゃいけんよ、何でも。(一同大爆笑)

谷：そうは言われても、ある程度自信がお有りになったのでは？

大：うんにゃ。当時の入試は学科だけじゃ無うて、体育や音楽や面接もあった。体育の試験は鉄棒の懸垂が課題でこれが0回じゃった。ゼロでえ。普通受かる訳が無かろう。じゃ



P r o f i l e

大正8年1月30日広島市中区十日市町生まれ、昭和11年3月広島高等師範学校附属中学卒業、16年12月広島文理科大学文学部卒業、21年9月株式会社大本組入社、24年6月取締役副社長、36年8月代表取締役社長、37年10月～現在日本社会人野球協会中国地方連盟(現財団法人日本野球連盟中国地区連盟)会長、40年4月～46年3月岡山商工会議所副会頭、54年11月藍綬褒章受章、昭和56年2月～平成4年5月社団法人岡山県建設業協会会長、平成3年5月～4年5月社団法人全国建設業協会副会長、7年11月勲四等旭日小綬章受章、11年6月代表取締役会長兼社長に就任現在に至る。
永年に亘り岡山アカシア会会長を勤められる

が今思い返すと面接で印象的なことがあったんよ。面接官が「君、心臓は体の右かね？左かね？」と聞いてきた。当然「左です」と答えたら、「そんな事は無い。右じゃろう！」と言ってきた。そんな時とても慌てたが、「現に今私の体の左側でドキドキしています。間違いありません！」と答えた。そしたら「参った。君の言う通りだ。」と試験官。これで受かったんかも知れんが、世の中ゆうもんは可笑しいもんじゃのう。

谷：附中入学後の思い出をお聞かせ願えますか？

大：さっき言うたように入試で鉄棒懸垂が0じゃった。フウが悪りかろう。これをまず克服した。放課後に毎日これに取り組んで、半年後には11回できるようになった。そんなとき実感したんよ。「やればできる」と。



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。
"美しい音色を聴いて、心が潤う"ことも、
"素晴らしい絵画を見て、心が動かされる"ことも、
私たちの暮らしになくてはならないこと。
これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

掘りだそう、自然の力。

Calbee

そして「何でも世間並みに出来にゃいけん、人並みにせにゃあいけん」と。それから自信がついたんか知らんが、色々なスポーツに挑戦したね。バレー、テニス、バスケット、サッカー。上手かどうかは別じゃが。でも「何でもやってみんとわからん」、「やればできるようになる」と確信しとったよ。

谷：野球はなさらなかつたんですか？

大：勿論やったよ。小学校の時から大好きじゃった。一中や県商(県立広島商業)にも負けんように頑張った。ほいじゃけえ今もワシは社会人野球協会中国地方連盟の会長をやっとる。今の生徒はどうなんや？

谷：昭和30年以降は軟式野球に代わったので甲子園とは無縁ですが、それなりに頑張っています。

大：軟式がエエんかどうかは知らんが、何でも世間並み、他の学校並みにせにゃあいけん。世の中の常識に沿った事をやる。それが生徒の為じゃ。

中：ご卒業後は広島文理大学に進まれましたね。

大：ほうよ、将来は学校の先生になろうと思うてのお。ところが大学3年生の終わり頃、忘れもせんが大変な事が起こったんじゃ。昭和16年、1941年12月8日未明、真珠湾攻撃よ。そのまま大東亜戦争勃発じゃ。そしてこの年の12月に繰上げで卒業。「学生は陸軍でも海軍でも、とにかく兵役に服せ」と。無茶よ。それで岡山の中部第48部隊歩兵連隊に陸軍二等兵で入隊。それから試験を受けて保定(中国の天津市西方)の陸軍予備士官学校に7期生として入学して半年後に帰国。その後は大学で先生のコースをとっておったのが考慮されたのか、兵を育成して前線に送る仕事を任されたんよ。専門は通信での。モルス信号の打ち方から、暗号のやり方や、通信文の扱いその他全般を教えて、だいたい3ヶ月ほど教育しては、兵隊を中国戦線、インドシナ戦線、フィリピン経由でラバウルやガダルカナル方面へと送ったんよ。まだ日本軍が制海権・制空権を持っておった頃はね。

谷：実は私の父も大本先輩と同年で、海軍の通信部で教官をやっておったんです。ガダルカナルの前線へ出た後ですが。ガダルカナルでは陸軍の玉砕部隊に助けられたそうです。先輩が教育された方々だったか

もしれませんね。

大：お〜、ほうか！人は何かの繋がりがあもんじゃのう。あんたのお父さんとは逆の順番で、ワシも前線へ出たんよ。だんだんと戦局が悪くなって来て、内地に残るとる訳にもいかんようになり、昭和20年の正月2日に広東省への出征命令が来た。丸亀に集結して、博多から敵の潜水艦がウヨウヨしとる日本海を越えて釜山へ行き、鴨緑江を渡り、空襲を避けるために夜だけ動く貨車に馬と一緒に乗って、シラミだらけになりながらやっと上海に着いた。10日程かかったかのう。そしたらそっから先へ行く艦が無い。もう日本には制海権も制空権も無うて、そこで足止めじゃ。そうこうするうちに8月9日ソ連参戦よ。当然満州転戦の命令が来た。準備が整って上海停車場を出発しようとしたのが8月15日。陛下のお言葉がラジオで流れたが、ガーガー雑音だけしてさっぱり聞こえんかった。



中：終戦を迎えられたときの正直なご感想は？

大：やれやれよ。飛行機も無い、艦も無い、勝てる訳が無いじゃろう。なんでこんな事をしよるんかと思うとったよ。

谷：帰国後はご養子に入られていた大本家の家業を継がれたわけですが。

大：先生になろうとしていた人間が、時代にのまれて戦争に行き、それが終わったらドカタの大将じゃ。人生わからんもんよ。今でこそ建設業、建築業と言うが、当時は請け負い稼業じゃ。大学出のインテリで理屈を覚えた人間がやる仕事じゃなかつたんよ、当時は。理屈よりも人情が優先される世界じゃ。じゃが、常に「在平素(全ては日頃の行いが大切である)」、「国家社会の為に働く」事を旨として今日までやって来た。まがりなりにここまで来れたのは、小

学校・中学校と、この精神を叩き込まれてきたことが大きいのが。

谷：現役の生徒たちへのメッセージをお願いしますか。

大：さっき言うたように、先ず第一は「在平素」よ。今日やるべき事は今日やる。先送りは絶対にダメじゃ。第二は「何でもやってみる」行動力。やりもせんうちに「出来ん」とか「無理じゃ」とか、「危ない」とか言う井の中の蛙じゃあいけん。何でもやってみにゃあわからんじゃろう。勉強・学問は大切。しかし理屈を覚えても行動できん人間はダメじゃ。行動は理屈を越える。行動・実践した結果によって理屈・理論が導き出される事を忘れちゃいけん。最後の第三は「人並み・世間並みの事をせよ」じゃ。狭い世界に逃げ込んで、理屈をこねても広い世間では通用しない。早くから世間を知る術を持って損は無。以上を実践すれば大丈夫。ワシも附中に入った時は、多分ビりに近い方の成績じゃったろうが、卒業するときには一番の成績を取って、卒業生代表で答辞を読んだ。今初めて言うんじゃがの。それも今述べた第一〜第三の心がけを教えてくれた先生方のおかげじゃ。

中：アカシアのメンバーへのメッセージもお願いします。

大：学生に言いたい事とあんまり変わらんよ。それでも強いて付け足して言えば、人生色々な巡り合わせがあるが、その場その時に応じて「最善・最大を尽くせ」という事。巡り合った事態に文句を言うても意味は無。それよりその事態に応じた「最善・最大を尽くす」事が事態打開・進展の最大の武器じゃ。あとは我が社の社是を見てもらえばエエ。要は信用・誠実じゃ。人を騙して世の中渡る事は絶対に出来ん言う事よ。ワッ・ハッ・ハ。

谷：今日はお忙しいところ、本当にありがとうございます。

中本 泰弘 (65回)

谷口 公啓 (73回)



左から谷口公啓(73回)、大本榮一氏(27回)、中本泰弘(65回)

友誼の御園 ～母校日より～

東京キャンパスツアー

8月3日、4日の両日、高校生の希望者31名(高I 15名、高II 16名)が、引率教諭2名と共に、猛暑の中、参加しました。本校としては初の企画でしたが、卒業生諸氏の後押しをいただき、進路意識向上の面でも大きな刺激を受け、成果を上げることができました。

初日は東京大学大学院工学系研究科の土本康生先生(81回)に全体企画を含めご尽力いただきました。まず同氏の所属されている研究室を訪問し、次に同研究科の三田吉郎先生(81回)のご案内で東京大学武田先端知ビルスーパークリーンルームを見学。さらにご自身の研究内容や、東大での生活についてユーモアもまじえて、講演をしていただきました。



その後はそれぞれ早稲田大学・慶應義塾大学のキャンパス見学に行き、夜には現役の東大生、李昊さん(教育学部4年・97回)、奥田美希さん(法学部3年・98回)、石澤哲也さん(教養学部2年・98回)の3人をお招きして、宿舎で生徒との懇談会を行いました。東大の魅力、高校在学時の生活や勉強について、示唆に富む話を聞き、質疑応答を行いました。

参加生徒は年も近い先輩の話とあって、大いにやる気を出したようです。生徒の中には「こんないい話は人には教えられる、自分だけの宝にする」というような、ちょっとせこい(?)話も出るくらい、刺激的だったようです。

翌日は東大のオープンキャンパスに朝から参加し、夜10時近くに広島に帰ってきました。卒業生からの援助あってその有意義な旅でした。来年度以降も恒例化したい行事と考えています。

進路指導部長 石原義文



土本先生・三田先生を囲んで



大隈重信像の前で



李さん 奥田さん 石澤さん

8月3日(火).....

★東京大学本郷キャンパスの研究室訪問

14:00 江崎研究室見学

- (1) 全体紹介(江崎浩教授より)
- (2) Live E! センサの構成とデータ収集・加工とGoogle Earthへの表示
- (3) iPhoneによる場所特定の公開実験
- (4) サーバルーム見学

15:30 武田先端知ビル訪問

- (1) スーパークリーンルーム見学
(山手線内エリアで最も清浄な部屋!!)
- (2) スーパークリーンルームで作った「マイクロマシン」のライブデモンストレーション
- (3) ディスカッション

16:30 終了

★慶應義塾大学・早稲田大学等キャンパス見学

★卒業生との懇談会 19:30~20:30



土本康生先生(81回)



三田吉郎先生(81回)



8月4日(水).....

★高校生のための東京大学オープンキャンパス(本郷キャンパス)に参加

今回のキャンパスツアーで一番印象に残っていることは2つあります。1つ目は、東大で学生の方と会話をすることで、学生生活や今取り組んでいる研究、課題、また、学生の方々の意志や自覚についてよく分かったことです。東大は研究設備がとても整っていて、恵まれている環境でした。その中で、東大生は「社会貢献」ということを一番に考えて研究に専念されていました。研究の成果が社会貢献につながるの当たり前だと考えていることに私はとても驚かされました。「研究は自分の疑問を解決するだけのものだ」と考えていた私にとって、今回の体験は私の考えを180度変える結果となりました。「日本を引っ張るリーダー的存在になるのは東大生」とよく耳にしますが、確かにそうだと思います。東大生は偉いけど、自覚もしっかり持っていたことが新しい発見です。

2つ目は附属出身の3人の先輩方が話して下さったことです。先輩方は、1年生の時からコンスタントに勉強していたそうです。「勉強時間は8時間」ということには驚きました。その上、東大合格者からみて8時間という勉強時間は少ないということに、さらに驚きました。でも、そのくらいやって初めて身につくんだらうと感じます。「非効率的なこと」の積み重ねが大きなものとなって戻って来る」という話にも、とても納得しました。自分のやることを信じてやりきることが大切だということに気づきました。「受験勉強の第一歩は自分を信じることから」だと思います。

今回の体験は、私にとってたくさんのお話を学ぶいいものとなりました。この2日間ですれ違うというものが分かった気がします。これから受験までモチベーションを高く持ち、そして今回学んだことを生かして頑張ろうと思います。

宗近 郁香(高校2年)

スーパーサイエンスハイスクール2010 コアSSH 海外研修(韓国)

2010.8.9~2010.8.12



今年度、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の一環として、新たに「海外の理数系教育重点校との連携」を目指したコアSSH校に採択されました。その取り組みの一つとして、高校2年生のSSクラスから生徒33名が韓国天安市の天安中央高等学校を訪れて物理と化学の日韓共同授業を実施しました。

日本と韓国の生徒各2名で班をつくり、それぞれテーマに基づいて実験の方法を話し合い、実験の結果と考察をまとめて発表します。英語による話し合いは、最初は時間がかかっていましたが、だんだんと慣れ、ホームステイ後の2日目には実験や作業もスムーズに進み、心のコミュニケーションをとることも出来ました。

実験や観察を重視した本校理科教育は、海外に誇れるものだと確信する一方、英語によるコミュニケーションやプレゼンテーションは韓国に学ぶところが多かったように感じられました。
副校長 隠善富士夫

生徒の感想から

●実験実習

化学実習では、まず現在のエネルギー問題について学習した後、バイオディーゼルを実際に精製し、その粘性を調べることで、石油の代替となるかどうかを考えた。私たちのグループの結論は、「バイオディーゼルは植物から作られ、使った時に排出するCO₂はまた植物に吸収されるので、CO₂の吸収・排出は±0となり環境にやさしいといえる。しかし、精製する過程でNaOHや高温に保つエネルギーが必要となり、このような点では環境にやさしいとはいえない。」となった。物理実習では、「LED電球は環境にやさしいのか」というテーマで実習を行った。グループ討議をして主張を設定し、それを確かめる実験を考え、実行してプレゼンテーションを行った。LED電球と白熱電球の明るさや消費電力・発熱の程度を比べたところ、消費電力・発熱の程度でLED電球の方が低く、明るさもLED電球の方が明るかった。私たちが出した結論は、「LED電球は白熱電球より環境にやさしい」である。しかし、LED電球と白熱電球での明るさは場所によって異なり、全ての光エネルギーを測定した訳ではないので、正確なことは分かっていないという課題も残った。また、他の班では、目にやさしいかという視点なども出ており面白かった。

この実験実習でのグループ内のコミュニケーションは全て英語だったので、上手く通じないし、言いたいことを正確に言えないしで、とても大変だったが、筆談や身振り手振りで頑張って、無事終えることができた。

●研修を終えて

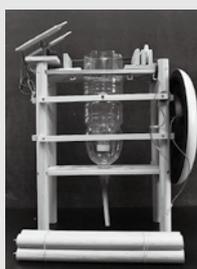
この研修では、異文化を受け入れ柔軟に対応することの大切さを学び、英語能力の重要性をいたるところで感じた。これからはどんな分野でも英語を使うようになるであろう。しかし、言葉が通じなくても同じ志の人はいて、言葉の壁などない、ということも感じる事ができた。

佐藤真由(高校Ⅱ年)



〈活躍一抜粋〉

発明くふう展
相川拓哉くんの作品
相川拓哉くんの作品
相川拓哉くんの作品



時間がきたらモーターがまわり水栓が開く。タイマーには太陽電池を利用。
(2010年11月16日付「中国新聞」朝刊にも掲載)

○第54回広島県科学賞

- ・学校賞(広島県議会議長賞)
- ・特選(広島県教育委員会賞)
- 『ミルククラウンの研究』 野中雄太 服部進太郎(高校Ⅲ年)

○第54回日本学生科学賞入選2等

- 『ミルククラウンの研究』 野中雄太 服部進太郎(高校Ⅲ年)

○平成22年度広島県児童生徒発明くふう展

- ・準グランプリ(全国へ出品)『植物自動水やり機』相川拓哉(中学2年)
- ・アイデア部門 ジェイ・エム・エス賞『ぐるぐるハンガー』久保田新菜(中学2年)
- ・ユニーク部門 アオイ化学工業賞『ストローング炭炭』嶋田萌季(中学2年)

○平成22年度広島県高等学校書道展

- ・優秀賞(第35回全国高等学校総合文化祭福島大会出品決定)向井珠里(高校Ⅱ年)

○第58回中国高等学校選手権水泳競技大会

- ・女子200mバタフライ 8位入賞 田中沙貴(高校Ⅱ年)

地域アカシア会だより

各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定
東京	的川 泰宣 (50回)	〒105-0013 東京都港区浜松町1-21-5-5F 株式会社プロセス研究所 尾籠裕之(56回) TEL03-6809-2237 Eメール ogomori@bplab.co.jp	総会と懇親会 5月と11月 次回は5月21日(土)
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール pff00360@nifty.com	総会 6月頃と12月
東海	齋藤 菊 (48回)	〒444-0873 岡崎市竜美台1-16-5 沖 信一(55回) TEL0564-52-6988 Eメール shinichi.oki@mc.or.co.jp	総会と懇親会 2月と9月頃 次回は2月13日(日)
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区山下1-1-13 株大本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日 次回は 2011年11月12日(土)
広島	向井 恒雄 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は毎月17日 (原則として) 7月17日は全国アカシア会総会
九州	八木 聖二 (54回)	〒815-0033 福岡市南区大橋3-27-17-704 伊藤哲生(51回) TEL092-552-9300 Eメール 200845t-ito@jcom.home.ne.jp	総会 10月頃
東北	野尻 久 (33回)	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学学際科学 国際高等研究センター 八百隆文(53回) TEL022-795-4400 Eメール yao@cir.tohoku.ac.jp	未定

いろいろアカシア情報

- ◆東海アカシア会総会
日時：2月13日(日) 11:30~
場所：白亜館葵店(名古屋市中東区)
学生さんは無料。詳細は左記事務局へ。
- ◆アカシア歯科医会総会
平成23年3月19日(土)開催。
詳細は未定。
- ◆51回生 卒業50周年記念同期会
①平成23年10月21日(金) 18時~
ANAクラウンプラザホテル広島にて
翌日の10月22日(土)は小旅行を企画中。
②現在実行委員会で準備中。
総合世話人：鼻岡甫訓
hana1okall@email.ne.jp
事務局：伊藤秀輔
hitoh@r8.dion.ne.jp
- ◆「わが昭和史」を発刊(41回生)
傘寿を目前にして、昭和20年という
激動の時代に入学した我々41回生は空
白のまま母校史を欠落させた運命の一
年間とその後の我々「軍国少年」の生
涯を文集にまとめた。「わが昭和史・
完結編」だ。5月15日の卒業60周年会
が完成披露式となる。

東京アカシア会 平成22年度秋季懇親会

小雨模様の11月22日(月)、平成22年度秋季懇親会が、東京都千代田区のスクワール麹町で開催されました。母校から、原田良三高等学校副校長、全国アカシア会から向井恒雄副会長(50回)、吉中康磨常任幹事(50回)にご来賓としてお越しいただき、総勢109名の参加者が集いました。

総会の冒頭で、的川泰宣東京アカシア会会長(50回)より、はやぶさ帰還のお話から「皆の力を合わせていい国をつくっていこう」とのご挨拶があり、引き続き尾籠裕之事務局(56回)と中村英氏(57回)より、東京アカシア会・新ホームページの立ち上げ・運用についてご説明をいただきました。

続いて、この半年間に亡くなられた13名の方のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

ご来賓のご挨拶では、原田副校長から国際交流が活性化している母校の近況をお知らせいただき、向井副会長からは、全国アカシア会の運営状況などのお話をいただきました。

その後は、初倉克幹氏(43回)のご発

声で乾杯をし、しばし歓談。会場は、会の盛り上げ役であるシニア幹事(63回)や活性化メンバーを中心に、現役学生から大先輩まで、世代を超えた交流で終始にぎやかに時が過ぎました。時節柄、参加学生からは就職活動に関する相談も多く、先輩方の貴重なアドバイスを真剣に聞き入っていました。全国知事会・知事会議ののち会場に駆けつけていただいた湯崎英彦広島県知事(75回)にご挨拶いただき、恒例となった抽選会へ。今回の抽選会では、賀茂鶴酒造様、カルビー様、広島東洋カープ様、そして、平城弘通氏(29回)、増田正和氏(31回)、的川泰宣会長、安藤輝彦氏(55回)、恵藤美奈子氏(79回)、小西潤氏(94回)より景品を提供いただきました。特に、最年長・平城弘通氏から今年9月に出版された自叙伝『日米秘密情報機関』を、的川泰宣会長からは「NPO子ども・宇宙・未来の会・はやぶさ×キティ」グッズを、ご自身で抽選・贈呈いただき、大いに盛り上がりました。

非常に盛況であった懇親会も、お開きの時間となり、参加者全員が大きな輪になって肩を組み、松尾康二氏(46回)の元東京アカシア会副会長山口信



新HP説明の様子

夫氏(33回)を偲ぶご挨拶ののち、コールアカシアの方々を中心に学生歌・校歌を斉唱しました。次年度幹事である80回生挨拶と続き、最後は、恒例となった榎本良二氏(69回)の音頭で「フレー・フレー・ア・カ・シ・ア」のコールを会場に響かせ、大盛況のまま閉会となりました。

その後、79回生が自主企画した二次会にも50名を超える大勢の方が参加され、旧交そして年次を超えた交流を深めることができたと思います。東京アカシア会活性化委員会では、新しいホームページの活用を軸とした、アカシア交流の活性化に向けて議論・準備を開始しています。今後の東京アカシア会に是非ご注目ください。

12月1日記：坪井勇蔵(79回)
撮影：松下英樹(99回)



エールの榎本氏

平城氏(左)と増田氏

近畿発

近畿アカシア会 後期総会



12月5日、梅田にある創作和食レストランSLOW BLU CONSCIOUSで開かれた総会には46人の参加があった。初めに今回の企画を担当させて頂いた学生有志を代表してお礼申し上げたい。

今回の後期総会も昨年に引き続き、学生主体での開催となった。光廣直史さん(96回)の司会で始まり、近畿アカシア会会長の堀内重明さん(50回)による挨拶、広島からご参加頂いた来賓の方々の挨拶と続いた。広島アカシア会会長の向井恒雄さん(50回)よりアカシア会の組織運営についてのお話、隠善富士夫副校長からはSSH(スーパーサイエンスハイスクール)・管弦楽班の活動を中心に母校の取り組みについてお話し頂いた。

ここからが学生企画。まず隠善副校

長の話にも上がった管弦楽班の演奏、昨年の総会の終わりにもう一度見たいとの声があった体育祭マスケムを見て頂いた。参加者の中にはその活動に参加していた者もあり、各テーブルでは当時の話に花が咲いた。その後歓談の時間となり、皆の顔がよく見える明るい会場で、美味しい和食に舌鼓を打ちながら活発に交流を楽しんだ。

次に岡國太郎さん(57回)の発案で、鶴殿淳之介さん(97回)が企画した「しゃべり場」に移った。近年取沙汰されているSNSを題材に、世代間交流に必要なエッセンスについて意見をぶつけ合った。各テーブルで議論した後、数人に全体の場でも意見を披露して頂いた。どの話の中でも「コミュニケーションの基本はFace to Face」という

キーワードが躍った。向井さんから世代間交流だけに留まらず、人との関わり合い全てにおいて言えることだという言葉を頂き、拍手とともに企画は締めくくられた。

最後にじゃんけん大会を開催した。クリスマスも近いということで、勝ったテーブルには関西で行列のできる人気店・ガトーフェスタハラダのラスクがプレゼントされた。勝者の大道和佳子さん(96回)から今回の感想をお話し頂き、坪本勝司さん(50回)には同窓生の川泰宣さん(東京アカシア会50回)の書かれた書籍「小惑星探査機 はやぶさ物語」の紹介を頂いた。全国のアカシア会員様にも読んで頂けたら、と思う。

川村美貴さん(97回)から「来年も同窓生を誘い合わせて会を盛り上げたいきましょう」と挨拶があった後、盛況とともに後期総会は閉会した。来年も素敵な交流が図れることを期待している。 藤川千紗(97回)

前出以外の出席者：(34)河原昌安、(38)香川 昇、川本和良、(41)戸田正弘、(43)熊本直文、黒田昭夫、武内里子、永尾正章、藤井侃二、宮本真亘、(44)井口卓也、春日幸子、對馬 敏、(45)上野徳恵、(46)生塩之敬、皇 暢子、(57)森 静子、(62)豊島秀郎、(64)田頭史明、徳丸義也、(84)末崎 恭、(95)細川裕子、(96)上田大樹、岡寄友輔、小野弘太、(97)片山法子、徳永祐也、藤川千紗、美坂佳織、(98)山本大介、横山祥子、(99)伊藤茉莉子、高尾英莉子、松長由宇子、(100)武田めぐみ、中川友実、増田佳那

東海発

東海アカシア会・豊葦会 ビアパーティー



暑い！暑い！日本一暑い多治見を有する東海アカシア会・豊葦会のビアパーティー「夏バテをぶっ飛ばそう！」が9月12日(日)名古屋駅前のレストラン「パストランテ」で開催されました。猛暑で趣旨ぴったりの会となり、参加者は20人。まずはいつも写真をお願いしている中村博之監査役(43回)による記念撮影、そして開宴。

東海アカシア会齋藤翁会長(48回)のご挨拶に引き続き、ご来賓の全国アカシア会吉中康磨常任幹事(50回)より、アカシア会全般、最近の広島と学校の様

子、カーブの話題などのお話がありましたが、昨年からの総会・ビール会に連続でご出席下さっているだけに、皆さんすっかり打解けてお話しに聞き入っていました。

今回最高齢の吉本幹彦元会長(41回)のご発声で乾杯の後、若者向きのボリューム満点グルメコース料理を食べ、ビールやワインをぐいぐい飲みながら、参加者全員より近況報告・思い出などが語られました。

一層お元気の東海豊葦会小田千恵子会長、いつもわざわざ神戸からご参加の花岡正紀さん、名古屋の林滋さん、四日市の兼川徹さん、そして横浜からの齊藤会長、48回同期の常連5人が今回も揃いました。ビアパーティー初参加は、東京から名古屋に単身赴任中の高岡義文さん(64回)、来年1月にご出産予定の伊藤康代さん(81回)のお二人

で、すっかり東海の雰囲気馴染むことができたようです。今春に東京へ異動された富吉賢一さん(72回)も駆け付け、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」をPR、服部清美さん(72回)からは最近の翻訳活動の様子が紹介されました。

更に、戸田弘さん(50回)、坂本利彦さん(55回)、成瀬まり子さん(65回)、石田充さん(93回)、森信秀一郎さん(93回)、最年少の村本孝博さん(95回)まで、家族や仕事の状況、趣味やボランティア活動など、ファミリーなムードの中で、会話が途切れることはありませんでした。最後に作曲家梶幸一朗さん(81回)の指揮で校歌・学生歌を合唱し、来年の総会での再会を祈念して散会しました。

次は来年2月13日(日)に東海アカシア会・豊葦会総会が開催されます。従来同様、「白亜館」でフランス料理と美酒を味わえますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加下さい。学生さんは無料です。

9月13日記 沖 信一(55回)

岡山発

岡山アカシア会 総会



平成22年11月20日岡山プラザホテルにおきまして、第54回岡山アカシア会が催されました。岡山やその周辺に住む卒業生の集まりです。今年40名の参加があり、大変盛会となりました。まず、総会があり、大会会長(27回)の挨拶で始まりました。会長は、孔子の言葉などを引用されながら、人生とは人との出会いの旅路であると、長い人生の中での縁の大切さで始まり、岡山での同じ附属を卒業した縁を深めてまいりましょうというお話がありま

した。引き続き、アカシア会本部より来られた向井先輩(50回)よりお話があり、母校とアカシア会の現状の説明がありました。その後、広島県知事選挙の時のウラ話や母校の将来構想や、これからのアカシア会のあり方についてのお話がありました。そして今年の岡山アカシア会では、英語を担当されていた佐々木昭先生にお越しいただきました。佐々木先生から、附高時代の思い出や、当時在籍されていた米国人教師とのその後の交流や、卒業後も続く卒業生との交流や思い出のお話がありました。先生のお話から、附属では他の学校より教官と学生の絆が実に深いことをあらためて実感させられました。その後、食事をいただきながら、参加者全員による恒例の近況報告

があり、皆それぞれの世代の話題や学生時代の思い出やお越しいただいた佐々木先生との思い出話、若い方からは、仕事や家族の話題など、人生のそれぞれの話題に花を咲かせました。今年、岡山アカシア会にもついに100回生の登場となり、大会会長の27回卒業から70年以上にわたる卒業生が会することとなりました。皆で学生歌、開校記念日の歌、校歌を歌い、最後は東大で応援団におられた榎本氏(69回)の応援団の本物エールと、大会会長からの恒例のお土産をいただき、来年の再会を期して、大変素晴らしい会を締めくくりました。

11月21日記 沖原 巧(72回)
前出以外の出席者：(36)池田 章、(40)原田克也、(41)森滝健一郎、(45)戸谷たみ子、(47)加藤修司、(49)古徳奈保子、(52)近藤みち子、佐々木洋三、(53)大田 淳、(54)横手靖吾、今石瑞枝、米倉靖子、(57)岡 國太郎、馬場正重、(58)小橋清二、(59)根岸友恵、(61)青木三恵子、吉川尚子、(64)八木一郎、(68)倉橋克文、清水幸登、(69)榎本良二、(70)有田和恵、戸板富久子、植田美穂子、(72)沖原巧(78)西澤賢太郎、(79)稲垣美穂、藤川純子、村瀧 剛、(82)板野 幹、梶原京子、松田麻理、(83)呑田浩之、(100)立神吉基

九州発

九州アカシア会 第七回総会・懇親会

[Acacia Jazz Night in Hakata]



平成22年10月30日、九州アカシア会第七回総会が開かれました。会場はジャズバー。

懇親会では、“Acacia Jazz Night in Hakata”と銘打って、東京から、プロベーシストの吉野弘志さん(63回)が来演。それに、プロピアニストの吉岡かつみさん、サクスの吉岡真さん(62回)、ギター荒巻淳さん(65回)を加えたカルテットによる、ジャズ演奏が行われました。

一曲目は、吉野弘志さんのベースソ

ロをじっくり。チュニジアの古典曲がゆっくりと会場を包み込み、参加者を異次元へ誘います。二曲目は、吉野弘志さん、吉岡かつみさんのデュオ。お二人は共演でCDも出されているというだけあって、息の合った演奏にうっとりしました。

千島良樹さん(54回)の乾杯の音頭の後、懇親会へ。

懇親会では、吉岡真さん、荒巻淳さんに加え、本格的なジャズカルテット。当初、吉岡さんのサクスの荒巻さんギターでのデュオを予定していましたが、吉岡さんが後輩の吉野さんと奥方のかつみさんを誘い、この豪華な組み合わせが実現しました。

会場のジャズバーは、アカシアの世代を超えた連帯感と安心感、それに懐かしさの入り混じった不思議な時間が流れていました。

九州アカシア会、初の試みであるジャズ演奏でしたが、大盛況のうちに幕を閉じました。

多くの参加者から「素晴らしかった!」「料理も美味しかった」「最高でした」「ありがとう!」と賛辞の言葉をたくさん頂きました。

(11月20日記：山本哲三/61回)

総会出席者：(敬称略 32名)
(51)伊藤哲生、(52)中塚和夫、(54)内 暄、千島良樹、八木聖二、(55)添田(小山田)寛子、花栗(平本)美百合、(61)河野博之、山本哲三、(62)豊原敏光、吉岡 真、(63)栗屋幸一、甲斐稔[広島事務局]、佐々木(兼定)淑子[広島アカシア]、吉野弘志[東京アカシア]、(64)河野(八木)操、(65)荒巻 淳、杉田俊介、松本典之、(66)岩國 治、谷 正和、三原 太、(69)品川雅史、宮本京子、(80)岩井宗貴、楠 英之、(95)江川知康、(98)圓山 朋、(99)古本政博、(100)越智有沙、高橋駿介
(ゲスト)吉岡かつみ



株式会社融合事務所

代表取締役 宮崎 忠 (66回)



勝俣 州和



柳葉 敏郎



木村 多江



高橋 かおり



「アカシア元教官の会」平成22年度(第19回)総会・懇親会



第4列 酒井秀二、菅原敬三、三宅重徳、松井政明、
第3列 井ノ迫泰弘、長谷川滋成、野中幹夫、田鍋 薫、紙田 巧
第2列 田中 泉、中本薩雄、田村一郎、片山一法、有田嘉伸、太鼓矢晋、小山 清
第1列 三上昭荘、池田克文、野地潤家、定末誠治、田中昭男、正田 實

本年度は、8月23日(月)に、中区のメルパルク広島で、23名が参加して開かれました。総会では、議事に引き続き、米寿を迎えられた定末誠治先生[体育]と池田克文先生[職業]に野地潤家会長からお祝いが贈られました。続いて、小山清先生[国語]により「杉栄三郎に宛てた柳田国男の絵葉書」と題した講話が行われました。

懇親会に先立ち、2010年5月5日に逝去された藤井千之助先生[社会]をはじめとする物故会員のご冥福を祈って黙祷しました。 田中 泉(66回)

同期会だより

アカシア会第34回卒業生の集い



写真後列左から：串山、河原、川村、永山
前列左から：熊平、為廣、大谷

10月6日正午から、東京丸ビル36階で、宮城を眺めながら中華料理を楽しんだ。出席者は7人である。永山君の開会の辞に始まり、中学卒業後から敗戦前後を中心に、思い出話に花が咲いた。参加者はすべて歩んだ道が異なり、初めて聞いた事ばかりで、約70年前のこととて、心の時効もとけ、愉快な一刻を過ごした。最後に中学時代に習った英詩”Row your boat”を皆で歌い、中学時代を懐かしむ為廣君の閉会の辞で、余韻を残しての散会となった。

串山 正

37回同期会

37回の東京地区在住者は、銀座4丁



目のドリアンというバーを止まり木として、年3～4回定期的に集まっていますが、会員の高齢化とドリアンのママの体調がすぐれないことから、何十年にわたって続いていた会を解散することとし、6月27日に新宿で最終の打ち上げの会を行いました。

当日は東京地区在住の6名(守田、畑、河野、仲瀬、甚本、大門)と広島から参加した大谷、ドリアンのママ松谷さんと手伝いをしてくれた矢野さん、池田さんの合計10名の集まりでした。出入りはありましたが会員が15～16名いた頃からみれば隔世の感があります。談論風発のひとときを過ごしたあと名残を惜しみながら解散となりました。 大門 哲

41回・毎月の定例会が我等の広場

今年の5月15日開催の卒業60周年記念同期会を前に、私たちは毎月第2水曜日を定例会として集まっている。

11月10日の集いでは、折から記念発



行を予定している手記集「わが昭和史・完結編」(250ページ)の原稿集約が完了し、目次や挿入カットなど体裁を整える段階に到達した、など報告。加えて、夫人が急逝し自身も体調不良で入院加療中だった仲間も、久し振りに元気な姿で復帰。出席者全員から拍手の歓迎を受けたご本人は早速、その後の手記集編集会議にも参加した。

東京地区でも昨秋、11月8日に在京41期会を開催。参加した15人の級友・旧友が懐旧談とともに、記念会への期待感で盛り上がった。 新井俊一郎

アカシア 49 in TOKYO



東京での全体同期会は卒業後初めて。

広島市役所アカシア会

年1回懇親会を開催し、近況報告や情報交換などを行っています。
広島市役所に勤務するアカシア会の皆さんの参加をお待ちしています。

会員数137名 会長 谷 博司 (60回)
連絡先 幹事 三隅 俊行 (66回)

～お世話役の皆様へ～

全国版会報では、同期会や総会のご予定を「いろいろアカシア情報」(10頁に掲載)として無料で掲載させていただきます。ぜひご活用ください。

また、お知らせ発送などのための宛名印刷も承っています。

宛名シール印刷 1シート (10人分) 100円
(200人分では2,000円)

詳細はアカシア会事務局までお問合せください。

TEL082-253-5581 (10時～16時)

10月24日(日)午後一時、東京品川駅に全国から集合。参加者47名が貸切バスに乗って、東京をグルリ。バスの中のBGMは、昭和30~40年代のなつかしのメロディーを流して、気分は青春時代。途中、東京都庭園美術館(旧迎賓館)、旧岩崎邸(三菱財閥の元本邸)を鑑賞。両方とも、明治・昭和初期の代表的木造建築。スカイツリー(当日497m)は雨に霞んで車窓から。夜は、新橋の有名な中華料理店でクラスごとにテーブルを囲む。上海蟹と特別うまい紹興酒を飲みながら、今の姿・形は忘れて心は高校時代にタイムスリップ。楽しかった!

11月25日記 山口邦明

**「笑顔が料理」「話がお酒」
50回同期会**



昭和35年に卒業した私達50回生は、卒業50周年・来年は「古希」という節目の時に10月22日同期会を開きました。佐々木昭先生と田中昭男先生を含め、全国各地から98人の仲間が集まりました。ANAクラウンプラザホテルでの一次会(アカシアの間)・二次会(ル・プラティーヌ)は「笑顔が料理」「思い出話がお酒」でいくら時間があっても足りないぐらいの盛り上がりでした。翌日、オプションとして「二つの世界遺産巡り」を実施。平和公園で「平和への祈り」を捧げた後、広島~宮島航路に乗船し宮島へ。宮島ではガイド畠山美恵子さん(57回)の案内で宮島の歴史の深さを学び、「宮島グランドホテル・有もと(女将・有本妙子さん(53回))で心籠った昼食を堪能して「平和の有難さ」と「宮島の美しさと歴史」をお土産に、またの日の再会を誓って家路につきました。 吉中康磨

52回同期会 in ハワイ



去る6月16日から5日間、私たちの同期会がオアフ島ホノルルで行われました。丁度ハワイはアカシアの木の葉によく似ているシャワー・ツリーが見事に咲き誇り、私たちを歓迎してくれました。島巡り観光のバスの中では、校歌、開校記念日の歌、学生歌(緑萌ゆ)を大声で合唱して、あっという間に高校時代の私たちに戻っていました。男性達は、ほとんど奥様を同伴され、日頃の労をねぎらい、感謝されたようです。ハイライトは総勢27名が一堂に会した豪華なサンセット・ディナー・クルーズでした。ハワイ在住の先輩(48回生)から、フレッシュな香り高い夜来香(英語名はtuberose)のレイが全員にプレゼントされ、甘い香りとともにハワイの美しい夕日を満喫しました。その他、ダイヤモンドヘッドに登ったり、パール・ハーバーやハワイ島にも足を伸ばし、それぞれに思い出深い、楽しい同期会となりました。2年後の高校卒業50周年の再会を約束して帰国の途につきました。 住田知栄子

53回生屋久島登山 縄文隊の記



富士山登山後、53回チンタラ登山隊は次の目標を縄文杉と定め、月1回、計13回の登山訓練を重ね、10月23日屋久島に集結。奄美に豪雨をもたらした

前線が居すわり24日は登山不可。明けで25日、和泉リーダーのもと7名は日帰り縄文杉をめざす。木道や木道階段に助けられ標高1,300mで縄文杉に直面。樹齢2千数百年、我々は66才、何とちっぽけな存在か、感動するほどはない。往復10時間半無事踏破。なお10名(石田、秋信、渡辺、今西、野田ほか)の別動宮之浦岳隊も山中1泊2日を踏破。田辺、三嶋の応援も得て。さて次なる目標をいかがする。詳しくは石田雅則まで。10月末記 樋渡敬宇

59回生還暦記念クルーズ



猛暑から一転、冬が駆け足でやってきた気配の11月22日、59回生とその家族59名(偶然の一致)は銀河広島湾ダイナクルーズを楽しんだ。夕べのとはりがおきた18時過ぎ、参集した一行は銀河をバックに記念撮影し、2階レストランへ乗船。開会の後、物故者追悼の黙とう、乾杯、会食・懇談とつづき、宮島沖に停泊。3階のデッキに出て、雨上がりの澄んだ空気につつまれつつ、ライトアップされた鳥居や街の灯に見入った。レストランに戻り、ジャンケンゲーム、ひとことスピーチ、附属の歌を合唱。さらに、グランドプリンスホテルスカイラウンジに移り、親睦を深めた。

記 田中文明 写真 原田正人

68回同期生会 in 大阪

附校を卒業して32年余、五十路に突入した68回27名が、残暑厳しき8月21日、大阪梅田に集いました。近畿はもちろんのこと、中国から中部から関東から、最遠は北海道からの参加でした。卒業以来の同期生会出席者もあり、行方知れず?が減りました。恩師

白島綜合法律事務所

弁護士 **大松 洋二** (72回卒)

〒730-0005 広島市中区西白島町18-1
Tel : 082-223-1133

にし脳神経外科クリニック

(平成18年開業)

西 **徹** (72回卒)

〒804-0064 福岡県北九州市戸畑区沖台1-6-37
TEL 093-873-0024
http://www.nishclinic.jp/



アカシア会
68回同期会 in大阪

松井坦先生には、広島よりお越しいただき、ますますお元気な様子で何よりです。一次会・二次会の6時間はアツという間でした。夜間高速バスで広島へ朝帰りされた方、お疲れ様でした。次回は、東京で開催予定です。

追伸：当日の様子は、以前同様、インターネット上で見ることができます。

11月14日記 矢辺保行

94回生2組同窓会

去る8月14日94回生2組の同窓会を開催した。担任である朝倉先生と生徒22名が参加し、近況を報告しあうとともに、懐かしい昔話に華を咲かせた。



写真は、一次会の最後に撮影したもので、卒業後7年が経過しようとしているが、皆面影は当時のままである。やや体格が変わった者もいるが。

二次会はボーリング大会。宴会部長富田君を中心に大いに盛り上がった。来年も元気な姿で会える事を楽しみにしている。

11月19日記 重本正樹

写真 山岡弘実

中電アカシア会の懇親会を開催

10月29日、梶山耕成先生を来賓にお招きし、中電アカシア会の懇親会を広島アンデルセンで開催しました。梶山先生には、母校におけるスーパー・サイエンス・ハイスクールへの取り組みについてご紹介いただき、参加者一同、



人材育成の大切さを再認識することができました。懇親会では、先生や先輩、後輩の楽しい会話に花が咲き、2時間があつという間に過ぎ、57回小池隆男氏の万歳三唱により、名残惜しくも閉会となりました。今年度は、新会長の58回熊野義夫氏(中国電力常務取締役)のもと新体制での懇親会でしたが、参加者の皆様、開催にご協力いただいた皆様のおかげで盛会に開催することができました。

11月2日記 古池信夫(72回)

平成22年度県庁アカシア会懇親会



6月29日(金)に広島市中区のモーリーマロonzで開催し、35人の会員(総勢は112名)が集いました。熊野良樹会長(64回)の挨拶に続き、今回、知事就任後初参加となる湯崎英彦知事(75回)から新規会員(?)としての決意のスピーチをいただいたほか、参加者全員が壇上で近況報告等を行い、最後は肩を組んで校歌を斉唱するなど、なごやかなうちに会が終了しました。今後も知事を支えて「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かったと心から思える広島県の実現」に向け、頑張っていきたいと思っています。

11月20日記 杉山亮一(75回)

広島市役所アカシア会 親睦会

11月24日(水)に広島国際ホテルのレストランで広島市役所アカシア会の親



睦会を開催しました。新規採用職員8名を迎えたこともあり、会員数が137名に増えていますが、当日の欠席者が出たため、22名の参加となりました。当初、湯崎県知事を迎え、広島県庁アカシア会と合同で、盛大に開催することを計画していましたが、日程の調整がつかず、単独での開催となってしまいました。しかし、新規採用職員のうち4名の参加を得るなど、今回も若い世代の参加者が多く、会長の谷博司氏(60回)の挨拶の後、佐伯克彦氏(61回)の乾杯で始まり、和気藹々の雰囲気の中、近況報告などを行って充実した会となりました。最後は、尾形完治氏(61回)の発声で乾杯し、今後ますますの会の発展と、次回は県庁との合同アカシア会を開催すること期して散会しました。

11月26日記 三隅俊行(66回)

アカシアサッカー三校対抗OB戦開催



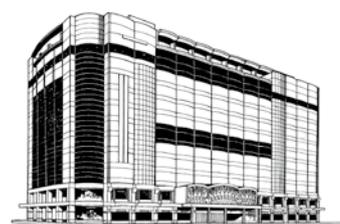
去る10月31日、恒例の三校対抗OBサッカー大会(国泰寺、修道、附属)が中国電力坂スポーツ施設で開催されました。戦績は対修道1-0、対国泰寺3-1で見事に優勝しました。得点は54回の鈴木正道先輩が鮮やかな右足シュートで2得点(60歳以上の得点は2点ルール)、68回の三浦義夫先輩も2得点の大活躍でした。また、年代構成も20代から70代までバランス良く配置され、世代を超えたアカシアのチー



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

ムワークの勝利でもありました。当日夕方に開催された表彰式を兼ねた懇親会でも、各自の華麗なプレーを振り返り、大いに盛り上がりました。

10月31日記 吉岡和生(72回)

野球班OB戦



2010年8月14日、59回(小谷会長)から98回までのOB20人が母校グラウンドに集い、恒例の(高齢の?)野球部OB戦を行いました。いつも感じるのですが、年齢が高いほど好打が目立ちます。人生のゆとりがプレーにも現れるのでしょうか?今年(2011年)も8月14日に母校グラウンドでOB戦を行います。多数の参加をお待ちしています。

アカシアバレー班OB・OG会



10月30日(土)にANAクラウンプラザホテル広島で「アカシアバレー班OB・OG会」を開催致しました。昨年、『中本先生を囲む会』という名で発起されたこの会に、この度は52回から79回のバレー班卒業生61名が集いました。歴代監督、中本薩雄先生、片山一法先生、金丸キミエ先生、笹原豊造先生のご出席を頂き、世話人代表の鶴野政人氏(56回)の挨拶の後、田中秀利氏(52回)のご発声による乾杯で会が始まりました。参加者全員が、ボールを追ったころの思い出と近況報告を行い、一方では参加できなかった同窓生の返信報告を会場に回して、懐かしく楽しい2時間半が過ぎました。最後は、皆

で校歌と「山男の歌」を斉唱し、この会の再開を約束して散会しました。

11月14日記 重野陽一(65回)

アマチュア無線班OB会開催



JA4YBRアカシア火腿クラブは、日本アマチュア無線連盟主催FDコンテスト(8月7日~8日)に合わせ、野呂高原ロッジにてOB会を開催しました。当日は、心配された通行止めの影響もなく、中国広州から参加の出田洋さん(66回)を始め、65~82回の計10名が無線班のかつての合宿地、聖地「野呂山」に集い、18時間に亘る競技会への参加を通じて旧交を温めました。来年度は顧問の松井坦先生を是非お迎えし、さらに盛り上げていきたいと思えます。 手島由裕(74回)

鞆の浦の思い出

増田 正和(31回)

小生の父方は江戸時代、新宮城城主・浅野候に随行し太田川の要の三篠に居を構え、藍染問屋を営み、母方は鞆の津にて廻船問屋を営む。

小生が生まれたのは鞆の津で、江戸に向かう朝鮮通信使が「日東第一形勝」と絶賛した景勝の地だ。鞆港は世界に三つしか残っていない自然円形港湾の一つで、また雁木、常夜灯、波止、焚場、船番所という港湾施設がそろって残っているところはここしかない。宮崎駿監督の「崖の上のポニョ」の舞台にもなった。

子供のころは、この湾ではよく泳いだ。船着き場で繋がれた舟で遊んでいて、よく海に突き落とされたものだ。また湾を囲む波止場間を泳いだり

した。昔の姿を残している湾なので尾道一高松間の大型船は湾の中には入れず、沖で汽笛を鳴らすと櫓船で沖まで行き、乗り移っていた。

元旦には裏手の太子殿に登り、日の出を拝んだが、真っ赤に燃える太陽が、海をはさんで目の前に見える四国の山々の後ろから昇ってくる鮮烈な光景は、いまでも脳裏に焼き付いている。

鞆尋常小学校から昭和10年4月、広島高師附中に入学した。その頃は中国地方はもちろん、九州、中国の大連などからも受験者がいた。専心寮、攻学寮で五年を過ごし、旧制広島高校、新潟医大に進んだ。新宿区にいまの医院を開業してから半世紀以上になるが、鞆に菩提寺があるから毎年四回は

鞆に帰る。また、広島市寺町通りにある本家の寺には年一回は詣でる。

この鞆の浦の湾を埋め立て、橋を架けようという計画が進んでいると、広島に従兄弟の子から連絡があり、鞆の浦の埋立て架橋反対、世界遺産登録を目指す署名運動に微力ながら協力することにした。

医師会の会合、広島大学の同窓会、東京アカシア会懇親会、新潟大学の関東、甲・信・静の学会懇親会でお願ひし、微力ながら七千名以上の署名を集めることが出来た。アカシアのみなさん、御協力有難うございました。今後も署名集めは続け、一万名は集めたいと思っている。

(東京アカシア会報43号より)

とも ورا 鞆の浦 世界遺産登録を目指して!!

万葉の唄に詠まれ、朝鮮通信使は「日東第一形勝」(日本一の名勝)と絶讃、日本で最も美しく歴史的にも重要な瀬戸内海中央の港町。古代から北前船の潮待ち港として栄えた鞆の浦。

国立公園第一指定となり、名勝「鞆公園」として国が昭和14年に貳拾銭記念切手を発売。

一度壊した自然は絶対に元の自然にならない。①厳冬の白川郷 ②春の熊野古道 ③6月の尾瀬沼 ④夏の知床半島等を散策したが、2年後には世界遺産登録になった様に、幼少時に過ごした思い出の鞆が必ずや登録なることを念じて、約7千名の署名を得られたことに感謝しています。 増田正和(31回)



昭和15年秋
旧制のマント姿の鮮やかに
眼裏に残る人に逢ひたる。
衣恵

2011年版会員名簿 広告主一覧

今年度は、129組の皆様に協賛広告をいただきました。ご協力ありがとうございました。次年度の名簿は、10月発行予定です。広告協賛にご協力いただける方は、6月末日までにアカシア会事務局までお知らせください。

【同期会】

アカシア41期会
46回卒業生有志一同
59回卒業生
アカシア62回
62回三金会
アカシア65回
71回同期会
75回有志一同
アカシア78回

【職域アカシア】

中国電力アカシア会
中電工アカシア会
県庁アカシア会
市役所アカシア会
マツダアカシア会
県立広島病院救急救命センターアカシア会

【クラブアカシア】

アカシアサッカークラブ
アカシアベースボールクラブ
アカシア仙人ゴルフ会

【企業・個人】(卒業回順)

株式会社 大本組
株式会社 住宅ケンコウ社
長沼商事 株式会社
旭化成ホームズ 株式会社
広島管財 株式会社
千田興業 株式会社
賀茂鶴酒造 株式会社
株式会社 東広島ケーブルメディア

松本ナツ子モダンバレエ研究所
株式会社 大之木ダイモ
島 外科内科
五洋建設 株式会社
医療法人 岩国病院
キョーリツ 株式会社
医療法人社団 日域医院
カルビー 株式会社
株式会社 大方工業所
医療法人 ヒノ井医院
医療法人社団 匡医 木村神経内科クリニック
風呂中内科
萬国製針 株式会社
メガネの田中チェーン 株式会社
日の丸産業 株式会社
白蘭酒造 株式会社
新横浜ステーション開発 株式会社
ダイダン 株式会社
株式会社 立芝
介護老人福祉施設 たちばな苑
スクウェアボックス
医療法人社団 博愛会 木阪病院
財団法人広島県サッカー協会
フレッシュパントリー白鳥
株式会社 紀陽
株式会社 合人社計画研究所
株式会社 エイチ・エム・シー
株式会社 ガシユ
公認会計士 和田裕充
新中央工業 株式会社

株式会社 さくら保険企画
フォンテ広島 株式会社
弁護士 馬場則行
医療法人社団 桃李会 平和の里
広島運輸 株式会社
大和重工 株式会社
慶友整形外科
東洋紙業高速印刷 株式会社
医療法人 翠和会 養神館病院
医療法人 わかば会 岩本内科医院
医療法人社団 石田外科
株式会社 シティガス広島
株式会社 中栄ビジネスリサーチ
ひろしま交流協同組合
医療法人社団 わかば町クリニック
株式会社 中国新聞社
井藤矯正歯科
しみず眼科医院
株式会社 天晶
肥後医院
弁護士 吉元徹也
細川・内藤医院
マルニヤ 株式会社
有限会社 敬愛ファーマシー
有限会社 丸益 西村屋
産婦人科 長尾クリニック
株式会社 広島東洋カーブ
株式会社 いまだ
株式会社 みづま工房
医療法人社団 曙会 佐々木外科病院
株式会社 感性舎
えほんてなブル
株式会社 シンコー
株式会社 ユニバーサルポスト
公認会計士 延近正章
小野内科循環器科医院
山陽工業 株式会社

スサワ循環器科・内科
株式会社 山縣本店
中国醸造 株式会社
つばめ交通 株式会社
大手町こぶけ内科クリニック
ニットハウス 株式会社
株式会社 マツマ
医療法人社団 楓会 林病院
山本歯科医院
株式会社 融合事務所
医療法人 わかみやメンタルクリニック
シンセイ 株式会社
医療法人 のぞみ会 むぎ耳鼻咽喉科
D.P.C.第一入力センター
おごろち歯科クリニック
Zaimu株式会社 熊野税理士事務所
畑 秀樹 税理士事務所
松原医院
株式会社 部谷工務店
広交グループ
医療法人 隅田耳鼻咽喉科医院
株式会社 サンキョウメタル
まえた内科呼吸器科
株式会社 広重(カーブス事業部)
クリエイティブコミュニケーション
株式会社 キノル・システム・ワークス
すずき歯科小児歯科
医療法人社団 正岡病院
花園 奉憲
株式会社 福屋
菅坂税理士事務所
フルール・ド・ルミエール
堀口海運 株式会社
株式会社 千葉物流倉庫
株式会社 鳥屋
株式会社 たきのぼり不動産

平和公園の無料ガイド

三登 浩成 氏 (54回)

平和公園で国内外からの多くの観光客を相手に無料ガイドをされている三登浩成氏 (54回) をご紹介いたします。

—毎日平和公園でのガイドは大変ご苦労な事だと思いますが、始められたきっかけは何だったのですか？

私を妊娠していた母は入市被爆し、ガンなどの大病になりましたが、現在92歳で元気です。私は免疫力が低下したせいか、子どもの時は病気ばかりしていました。父は市内で被爆したものの、大病もせず93歳まで生き延びましたが、トラウマのせいで体験は一言も語りませんでした。祖父は爆心地から600mで被爆、胃腸の粘膜が剥がれて9月3日に死亡。このような事が二度と起きないように、被爆の実相を多くの人々に知ってもらいたいと思ったからです。

—どのようにガイドをされていますか？

2006年の8月から観光客に声を掛けて、平和公園内の碑をめぐり、長い時には7時間もガイドすることがありました。しかしこの方法ではガイドできる人数が少ないので、多くの写真などの資料を見せながら、ドームと被爆地蔵、被爆墓石のある墓地、爆心地までのほとんどの人が行かない場所を案

内しています。また、平和記念資料館では得ることのできない情報を提供しています。

一人で始めたガイドも現在ではメンバーは13人になり、FIG (Free and Informative Guide) という名称で活動しています。FIGのモットーは「常に内容をリニューアルして、被爆の実相を正確に分かりやすく、心に響くガイド」です。そのために日々研修しガイドの質を高める努力をしています。メンバーのほとんどは英語ができますので、多くの外国人をガイドしています。ちなみに私が現在 (2010.10) までにガイドした観光客は約9万人で、その内外国人は130カ国1万5千人です。

—その中で一番印象的なエピソードをお聞かせ下さい。

昨年ガイドした32歳のアメリカ人の女性ミュージシャンが、アメリカ人は無知だからインターネットを通して啓蒙したいということで、私が提供した情報をすぐに2千人に発信してくれました。しかし彼女はこの春ガンで死亡しました。ガンの痛みは耐えられないほどでしたが、彼女からのメールには次のように書いてありました。「この痛みは苦しんで死んでいった被爆者



の痛みを少しでも理解できるようにと、神が私に与えた試練です」。彼女は敬虔なカトリック教徒でした。—テレビや新聞等で幾度も紹介され、ブログも開設されていますが、反響についてお聞かせ下さい。

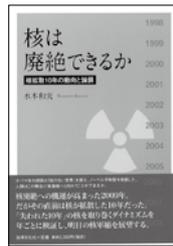
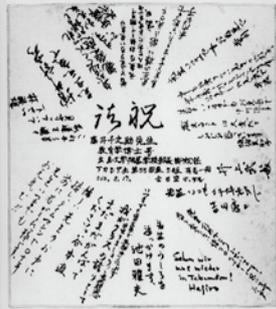
内外からメールでガイドの依頼は増えていますが、たまたまガイドした団体やツアコンに頼まれる事の方がもっと増えています。また、ミシュランのガイドブックで紹介されています。—最後にアカシア会員へのメッセージをお願いいたします。

FIGのメンバーになって、ヒロシマを世界に発信しませんか。—本日に今日はありがとうございました。(三登氏のブログへのアクセスは「広島島の視線」で検索)

アカシアライブラリー
寄贈資料の紹介

(2010年7月~12月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者



ご息女の小野由子様(66回)よりご寄贈いただいたDVDには、昨年お亡くなりになった藤井千之助先生の思い出の写真が収められています。

資料のご提供、ありがとうございます。
広島高等師範学校附属中学校東組編
「記念誌『東』昭和17年入学60周年」

(41) 新井俊一郎

飛田茂雄(36回) 中央公論159号掲載記事(コピー)「焼けただれた街—その日のヒロシマで—」

(40) 石橋基二

水本和実(65回)著「核は廃絶できるか—核拡散10年の動向と論調—」

(65) 水本和実

河野芳文(旧教官)著冊子「数学雑記帳」

(旧) 河野芳文

平城弘道(29回)・中村英(57回)著「波瀾万丈—聞き書き一元自衛隊—情報将校の回想」

(29) 平城弘道

DVD「感謝を込めて—藤井千之助」

(66) 小野由子

会報月例版を
購読しませんか?

<会報月例版の年間購読料は2000円>

7月と1月以外の月に発行している会報です。月例会の報告の他、会員からの情報をタイムリーに掲載し、皆様

の親睦に役立つ紙面作りを目指しています。

<全国版は全会員に配布>

総会や常任幹事会、各地区アカシア会の活動の報告をするため、7月と1月に全会員に配布しています。この経費はアカシア会会費で賄っています。

<お申込みは>

アカシア会にご連絡の上、年間購読料2000円をお支払いください。ホームページ上や、FAXでもお申し込みいただけます。年度途中のお申し込みには、4月からのバックナンバーをお付けします。振込先はこの頁下の帯を。

ご登場いただきました!

現在まで、以下のコーナーを新設し、多くの会員の方にご登場いただいています。

[]内は平成22年のご登壇者。敬称略。

① 出てもうてもええかいのお—会員のリレーによる自己紹介—

[鈴木盛久(53)→長谷川和也(55)→鶴野政人(56)→松尾 仁(60)→俵 透(62)→谷本靖典(71)→谷本聖貴(100)→古本政博(99)→古本(吉野)小美(72)→田中(井川)泉(66/旧教官)→杉山亮一(75)→迫 浩史(77)]

[荒神一臣(66)→山本(井東)光子(67)→木村淳邦(39)→高橋裕子(67)→上土康弘(51)→近森 翠(55)→茶藤健治(51)→力田(佐々木)ユミ子(51)→寒川起佳(51)→吉田(藤井)敦子(52)→勝亦 毅(45)→岡村(岩崎)有子(63)]

② アカシアカップル—会員同士の夫婦紹介—

[横田純一(81)賀英子(81)→西川直輝(59)順子(60)→佐藤哲郎(78)典子(78)→橘和弘明(50)佐登子(54)→西村健二(53)ミドリ(53)→西澤賢太郎(78)欣子(78)→石田 啓(76)陽子(79)→栗野正明(76)忍(76)]

③ 浩然の気—懐かしい先生による在職中の思い出話—

[定末誠治先生→佐々木昭先生→松村幹男先生→田村一郎先生→松井坦先生]

④ 構内記念碑・記念樹 [研開発室発足記念石碑、巧学寮専心寮跡石碑、攻学寮跡石柱、攻学寮賛歌歌碑、55回中学卒業記念コンクリート製机・ベンチ、創立70周年記念樹、創立90周年記念樹]

⑤ 班OBだより—各班OBより在校時の思い出話—

バレーボール班→軟式テニス班

※情報をお寄せください。会員の皆様のご関係するイベント、出版、出店等ありましたら、事務局へお知らせください。

訃報	訃報	訃報
24回卒 杉田 忠滋 様 平成22年11月21日	34回卒 濱野 宏輝 様 平成22年4月30日	46回卒 阿部(真宅)多嘉子 様 平成22年7月27日
山縣 耕造 様 平成19年5月26日	宮代 彰一 様 平成22年7月6日	47回卒 朝川 博之 様 平成22年7月16日
山崎 國夫 様 平成22年8月8日	35回卒 森田 學 様 平成22年1月4日	48回卒 岩永 武司 様 平成22年8月15日
28回卒 妹尾 剛 様 平成22年7月	脇野 務 様 平成22年11月23日	鍵本 潔 様 平成22年8月20日
30回卒 藤井(飯田)功男 様 平成22年11月8日	38回卒 大井 旭 様 平成22年11月22日	横山 良三 様 平成22年11月22日
三上(岡田)卓郎 様 平成19年10月5日	陣武 範雄 様 平成22年5月16日	50回卒 河野 義明 様 平成20年4月20日
31回卒 中原 良雄 様 平成22年10月21日	中島 襄 様 平成22年9月7日	58回卒 庄司(上野)留美子 様 平成21年10月29日
32回卒 井上 幹夫 様 平成22年12月10日	39回卒 大槻 典正 様 平成22年6月4日	59回卒 清水 康裕 様 平成22年9月29日
(元九州アカシア会会長)	41回卒 藤原 弘 様 平成18年	水戸 良雄 様 平成22年8月28日
寺田 龍玄 様 平成22年8月20日	42回卒 織田 禎造 様 平成22年5月20日	60回卒 岡田 哲哉 様 平成21年6月10日
33回卒 山口 信夫 様 平成22年9月14日	唐津 康夫 様 平成22年9月30日	61回卒 藤本 康夫 様 平成22年10月27日
	44回卒 森脇 一浩 様 平成21年11月19日	森 慶造 様 平成22年6月10日
	市村(平岡)佳子 様 平成22年10月7日	謹んでご冥福をお祈りいたします。

岡村 有子(63回)さんからのご紹介



場を飛び回った。1962年体協の関係者と... ④数年前、杉並区にアカシアサッカークラブを立ち上げた時、手伝ってくれた女性。

① 村上 處直(43回) ② 東京都杉並区 ③ 往年のサッカー名選手高山英華教授のもとで都市防災の研究を始め、世界中の災害現

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。たくさんです。

出てもうってま ええかいのま

項目説明

- ① お名前と卒業回数 ② お住まい ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出 ④ 次号登場の方との関係

会員リレー紹介 46

迫 浩史(77回)さんからのご紹介



芸です。雑貨屋やカフェが好きで、そこで出会った素敵な器が創作意欲をかきたててくれます。おいしいご飯と一緒に気に入りの器があると、とても幸せな気持ちになります。食事を使う器ひとつと通りを自作品でそろえるのが夢です。時計や植木鉢、オカリナ：作りたいものは尽きません。④光画班仲間。大学在学中は関西同士で、京都などを旅行しました。

- ① 本間 尚子(93回) ② 広島市東区 ③ 大学・大学院の五年間神戸で学び、現在広島県庁で働いています。最近はまだ働いていないのは、昨年始めた陶芸です。

♡ビバ!アカシアカップル⑱♡



夫：内藤 豊(50回) 妻：内藤由美子(54回) 旧姓：荒木 1970年5月結婚(40周年) 馴れ初め：前年の暮、仲人2人を介して「衆望」で見合い。東京と広島に離れており、3~4回のデートで3月に婚約、5月に結婚。豊は大学院在学中で新婚時代は奨学金とアルバイトで生活。それも楽しく懐かしい思い出です。ご主人から一言：アカシアは安全・安心の共同体。本人同士は元より友達の輪を広げても居心地の良さは抜群。反面、それに甘んじて夫婦間での気遣いに欠けることも多く、反省。奥様から一言：理系文系の考え方の違いは、アカシアという調味料に大いに助けられ、今年ハッピー婚を迎えました。2年ほど前から、音楽会と旅行を共に楽しむ日々感謝です。

事務局だより

◆会則改定について よりよいアカシア会になるために会則を改定し、平成23年4月1日より施行されます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。詳細は2~4頁をご覧ください。 ◆原田良三高校副校長先生・笹原豊造先生・伊賀泰恵先生が定年退官 原田良三先生 [英語・昭和60年着任] 笹原豊造先生 [英語・昭和63年着任] 伊賀泰恵先生 [英語・平成9年着任] 以上三人の先生方が3月に定年を迎えられます。月例会報3月号に特集を予定しています。 ◆転居の際にはアカシア会にもご連絡を！ 会報はクロネコヤマトメール便でお送りしているため、郵便局への転居届けでは転送されません。転居の際には、ハガキ、電話、FAX、Eメール、アカシア会ホームページの住所変更フォームなどをご利用いただき、こまめにアカシア会事務局までお知らせくださるようお願いいたします。 ◆7月・1月の全国版会報発送は、77回・78回・79回の方々にお手伝いいただきました。ご協力ありがとうございました。

河野俊嗣氏(73回) 宮崎知事選で当選

昨年12月26日投開票された宮崎県知事選で、前副知事の河野俊嗣氏(73回)がみごと当選されました。任期1期で退任する東国原英夫知事の事実上の後継として出馬され、広く県民の支持を得られ、対抗する新人3人に大差を付けての勝利でした。今後の益々のご活躍をお祈りします。(同氏には2007年7月号全国版4-5頁、アカシア探検隊でご登場いただきました。)



写真は2007年探検隊インタビューにて

—お詫びと訂正— 12月発行の月例会報442号「浩然の気」のアマチュア無線班の写真キャプションに誤りがありました。 〈誤〉アマチュア無線班(1996年2号館屋上にて) 〈正〉アマチュア無線班(1966年2号館屋上にて) 関係者の皆様には大変失礼致しました。お詫びして訂正致します。

Wチーズ 半熟生カステラ 新発売 2009年11月の発売以来、累計5万個販売の大人気商品 長崎カステラ屋がお届けする『半熟生カステラ』シリーズ この機会にぜひお求めください。 ご購入は：森長Yahoo!ショッピング http://store.shopping.yahoo.co.jp/moricho/tk77 創業寛政五年(一七九三年) 菓秀苑森長(森長) 1,680円(税込)

1月17日(月) 18時30分~ 広島月例会アカシア懇談会「新年互礼会」 ピアノとチェロのアンサンブル 桂 杏子氏(72回) 中村 美保氏(78回) お楽しみに! 78回卒業生一同

12月例会レポート

管弦楽班クリスマスミニコンサート

年の瀬12月は少し気分を変えて、MOLLY MALONE'S～モーリーマロズでの広島月例アカシア懇談会。

向井氏(50回)による開会のご挨拶に続いて、管弦楽班・高II女子メンバー13名のみなさんが登場。「女子十二楽坊」や映画「スウィングガールズ」の印象を持たれた方も多かったのではないのでしょうか。ご引率いただいた越智さん(70回)によるご紹介のあと、オープニングナンバーは「校歌」。そして葉加瀬太郎「情熱大陸」のテーマ、「冬のソナタ」のテーマ、「愛の喜び」…と美しい旋律は続き、「見上げてごらん夜の星を」では思わず涙ぐむ参加者の方も少なくなかったようです。ラストナンバーはクリスマスの定番メドレー。「赤鼻のトナカイ」は陽気に、「きよしこの夜」はしっとりOB・OGのハートに染み入り、演奏後はブラボーの声と拍手の嵐が止みませんでした。彼女たちから「みなさまの心に届いたなら…」と控えめなご挨拶がありましたが、「届きましたとも！」ですね。

隠善副校長先生からは、中高合わせて100名以上のメンバーが自分たちで作りに上げていく附属流の管弦楽班をこれからも応援していただければ、と。東京・日本青年館で毎年12月に行われる「全国高等学校選抜オーケストラフェスタ」には8年連続で出場中です。

乾杯の音頭はMOLLY MALONE'S オーナーの永井氏(60回)。アイリッシュ・パブに続いてメディアレニアン・カフェも新たにオープンされましたので、両店ともどうぞご鼠員に。

歓談タイムは和やかに寛いだムードで、美味しいビールとフードに舌鼓。お食事メニューの一部をご紹介しますと…麻婆豆腐、ラザニア、大根の



そばろあんかけ、キングサーモンのソテー、野菜サラダ、煮しめ、ビーフシチュー、青椒肉絲、ごはん、ロールケーキ…幅広い年齢層や好みに配慮されたメニューで、おのずと会話も弾んでいたようです。

ビンゴゲーム

そして恒例のビンゴゲームに突入。司会は5年連続5回目の吉中氏(50回)。このビンゴゲームの収益金は厳しい財政が続く広島アカシア会の新卒業生招待企画や40歳以下の会費補助に使われるため、皆さん奮ってご参加を！と意義を強調された上でレッツ・スタート！矢継ぎ早に繰り出される番号にてんやわんや、あちこちから掛かるリーチ！リーチ！の声もにぎやかに。ビンゴの1着は菊地氏(41回)。景品の電気毛布をご獲得。このラウンドの目玉商品は大和重工さんご提供のバーベキューに最適「かまどんオープンセット」でしたが、こちらはセカンドビンゴの三好氏(59回)がご入手されることに。

さらにビンゴ第2ラウンドは、司会役も下幹事の三浦氏(78回)にバトンタッチ。全国区の知名度でいまや高嶺の花となった安芸津のじゃがいもやお洒落な自転車など、魅力的な景品をめぐって熱い戦いが繰り広げられた結果、初ビンゴを射止めた宇都宮さん(80回)が選んだのは「赤忍者」こと広島カープ赤松選手のサイン入りユニフォーム。自転車は土谷氏(72回)、高嶺の花のじゃがいもは天島さん(57回)の手に渡ったのでした。ゲームに参加された吉中さんはカルビーのスナック一個をゲット。

最後は校歌斉唱でお開きとなりました。「よいお年を！」

12月17日記 土井新太郎(78回)



演奏してくれた管弦楽班のみなさん



12月例会出席者(敬称略97名)

〔副校長〕 隠善富士夫、〔教員〕 原 寛暎(39) 木村淳邦、(41) 新井俊一郎、菊地日朗、高田 勇、浜田逸郎、(43) 後藤吟子、西山英明、野村英敏、(44) 尾崎友彦、小野和彦、河口京子、武田祐三、田部 勝、宮脇秩子、山本正一、米山栄子、(49) 倉本戴壽、原田瑠美、(50) 井藤壯太郎、小川玲子、向井恒雄、吉中康磨、(51) 上土康弘、山森茂生、(53) 馬場剛行、山手愨正、(54) 田中保昭、(55) 近森 翠、(57) 清水さえ子、天島純子、(59) 三好 新、(62) 本田和哉、(63) 小川秀子、甲斐 稔、(67) 高橋浩一、高橋裕子、(68) 平尾 真、(70) 越智ようこ、(71) 大原明子、河合利美、(72) 石川敏宏、大心池浩珠、桂 杏子、河口千春、砂古伸二、佐々木克明、田室 誠、土谷正樹、檜井純江、檜井孝夫、古本小美、米倉 毅、和田征士、(73) 馬本 勉、木村千佳子、西原利典、(75) 花岡奉憲、(78) 伊藤活美、上田紀恵、角本千鶴、方井周吾、菅野啓司、清水満明、進藤綾子、土井新太郎、松石真紀子、三浦伸一郎、山田智子、(79) 青山和江、森川真吾、(80) 宇都宮裕子、(84) 加藤隆宏、(85) 栗栖史匡、(86) 川上英里、平岡誠司、(87) 中道加奈子、(88) 國廣華奈、野口知子、(90) 高橋優子、(98) 池田舞子、大西 梓、山田 桜
演奏：(高II) 木村ひとみ、西郷絢香、佐藤真由、下森舞、島本文子、戸田千尋、長岡清美、中山祐里、畠 千尋、平山咲月、松井美樹、松原保子、三谷真穂

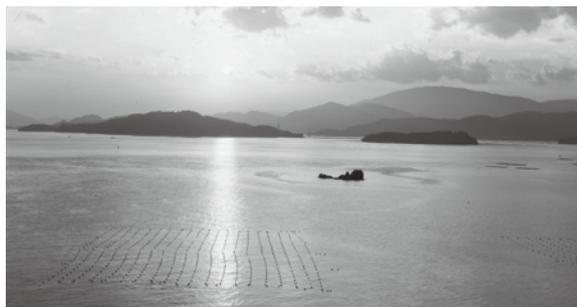
飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL (082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸壺町1-12-9
TEL (03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
飲ぶの歌 辛さその日も